

「教会はキリストの体」

2019年02月06日

エフェソの信徒への手紙1章15節～23節　　こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

「著者」は、読者たち（聴衆）に対し、あなたがたは主イエスを信じ、教会の交わりに入り、互いに愛し合っていると聞いて、祈りの度に、あなたがたの信仰と愛を思い起こし、感謝していると語りかけている。そして、三つのことを祈っていると書いている。一つ目は、「どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように」である。栄光の源である神が知恵と啓示との霊を与えてくださることによって、神の御心を深く知り、心の目が開かれるようにと祈っている。神の御心を知れば、自ずと心の目が開かれ、物事を正しく認識できるであろう。誰もが求めている祈りである。二つ目は、「神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように」である。神に招かれたキリスト者に与えられた希望、受け継ぐべき栄光がどんなに素晴らしいものであるかを知るようにという祈りである。三つ目は、「わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように」である。イエス・キリストを信じる者たちに働く神の力がいかに大きいものであるかを悟るようという祈りである。「著者」は、神の人間への限りなく大きい愛を全身で受け止め、神の霊、栄光の希望、神の力を得られるよう、壮大な祈りを捧げている。

更に、「神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました」と、今も、後も永遠に、キリストは世を支配されると語っている。そして、「神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました」と、教会はキリストを頭として、全てのものが従う群れであると説明している。教会はキリストの愛に倣い、愛において有機的に交わり合うキリストの体であり、全てを満たしているキリストが臨在し、生きて働く場である。あなたがたはキリストによって、このような大いなる祝福の中に招かれていると説いている。